

マルチリートメント(マルチリ)が 脳に与える影響

映像テキストブック



マルトリートメント(マルトリ)が 脳に与える影響

福井大学 子どものこころの発達研究センター
福井大学医学部附属病院 子どものこころ診療部

友田 明美

マルトリートメントの定義

(WHO Fact Sheet revised, 2016)

マルトリートメント (マルトリ)

虐待とは言い切れない
大人から子どもに対する
避けたいかわり

身体的虐待
性的虐待
心理的虐待
ネグレクト

- ・ 全成人の4分の1が**小児期に身体的虐待**を受けたと報告
- ・ 女性の5人に1人、男性の13人に1人が**小児期に性的虐待**を受けたと報告
- ・ 生涯にわたり個人の**身体・精神の健康を損ない、国の経済発展と社会成長を遅らせる**

虐待とは言い切れない、大人から子どもに対する避けたいかわりの総称(共通言語)を『マルトリ』とし、共通概念としての普及を目指しています。

MEMO

こんな事も脳を変形させる「マルトリ」

子どもを **一人で留守番** させる

▼アメリカの多くの州では小学生以下の子どもを一人で留守番させると **ネグレクト** として法律で罰せられ場合によっては逮捕される



アメリカの多くの州では、小学校6年生以下の子どもを1人で留守番させるとネグレクトとして通告され、法律で罰せられることがあります。

※ネグレクト:食事や教育を与えない、重い病気になっても病院へ連れて行かない、不衛生、乳幼児を家に置いて度々外出する、車の中へ置き去りにするなど、子どもに必要なケアを与えないことにより、子どもの健康状態や安全を損なう行為

MEMO

こんな事も脳を変形させる「マルトリ」

お風呂からでてきた父親が **裸でウロウロ** している

▼アメリカでは親子が一緒にお風呂に入るのは **性的マルトリ**とされている

▼子どもが嫌がっているのに、頻繁にこれを行うことで視覚野に障がいが出ることがわかっています



小さい時から親子で一緒にお風呂に入っている、子どもは年齢によって感じ方、物の考え方が違ってきます。子どもが年頃になったら、家のルールや生活習慣を変えていく必要があります。

※家の中でも親が下着一枚で過ごし、子どもが嫌がっている場合は「性的マルトリ」

MEMO

補足

こんな事もマルトリ

●身体的

言うことを聞かないのでお尻や手を叩く

●心理的

きょうだいや他の子と比べる、親は絶対的で常に従うことを強要する、「あなたの将来の為」と親の価値観を押し付けて塾や習い事などを強制する、「女の子だからやらなくていい」と性役割により決めつける、「うちの子は××もできない」と人の前で謙遜するなど、人格を否定する行為

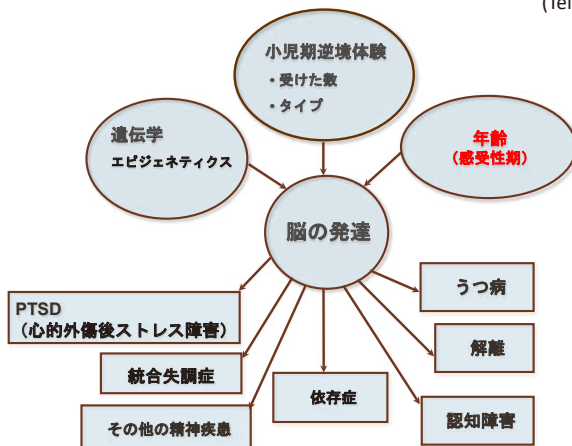
●ネグレクト

子どもにひとりで長時間スマホやタブレットを使わせる、親自身がスマホなどに夢中になって子どもとのかかわりが乏しい

MEMO

マルトリから“こころのトラブル”に至るプロセス

(Teicher et al., 2016)

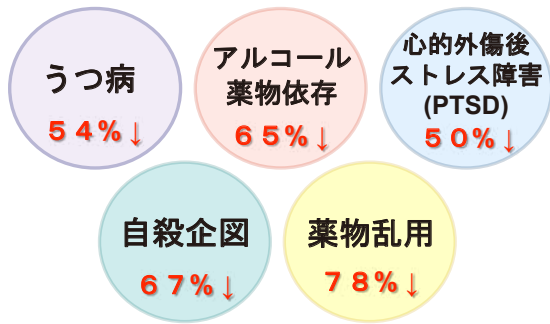


子ども時代にマルトリを経験すると、大人になってからこころの問題が出てくる場合があります。

MEMO

マルトリと成長後のこころのトラブル

(Dube et al., 2003; Chapman et al., 2004; Anda et al., 2006)



医療費の削減にもつながる

MEMO

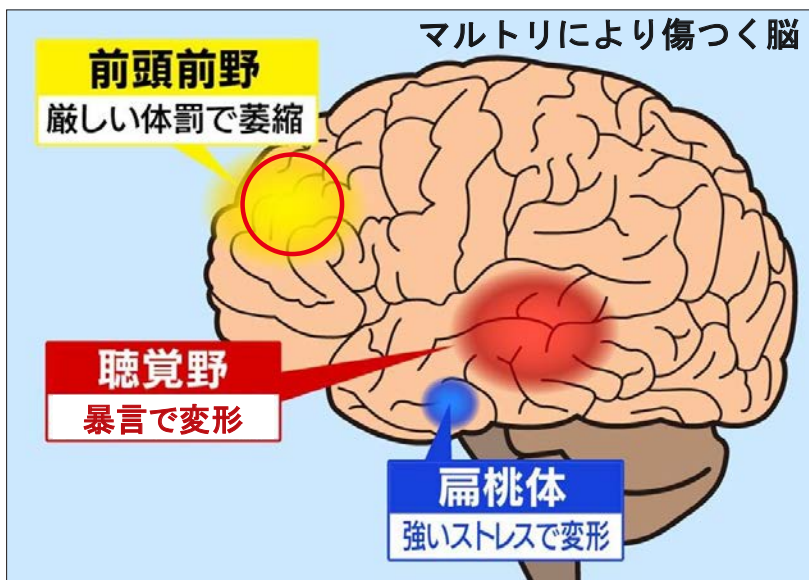


「子どものころの思い出プロジェクト」から、マルトリが及ぼす子どもの脳への影響を見ていきます。

※子どものころの思い出プロジェクト:患者ではない、一般の成人約1500名のボランティアを対象として、MRIによる脳画像を用いた研究

※MRI:磁力と電磁波の力によって、脳や体内の状態を画像にする装置

MEMO



様々なマルトリが脳の様々な場所に影響を及ぼします。

- 厳しい体罰 → 前頭前野が萎縮 (詳細:スライド14)
- 言葉の暴力(暴言) → 聴覚野が変形 (詳細:スライド11)
- 強いストレス → 脳の奥深くにあり、感情の中心となる扁桃体の変形

MEMO



暴言によるマルトリが脳に与える影響を検討しました。

※子ども時代に「お前は生まれて来なければ良かった」「死んだほうがましだ」など、存在を否定するような言葉の暴力を日常的に受けてきた成人と健康な成人の脳を比較

MEMO

ことばの暴力とは？

言葉の暴力スコア Parental Verbal Aggression Scale



叱りつけ・はやし立て・侮辱・非難・おとしめ・
恐怖を与える・卑しめる・あざ笑う・過小評価

“言葉の暴力のスコア”を開発して脳への影響を評価しました。これらの言葉は、どれ一つ取っても親から子どもに浴びせる言葉ではありません。

※暴言:言葉の暴力、存在を否定するような言葉

※叱りつけ:ヒステリックに怒鳴る、声を荒げる

※恐怖を与える:危害を加えると脅す、大声をあげる

※卑しめる:気分を悪くすることを言う

※過小評価:自分は無能で価値のない人間だと感じさせることを言う

MEMO

子ども時代の言葉の暴力による脳への影響



聴覚野の皮質容積異常

(Tomoda et al., 2011)

子ども時代に両親から言葉の暴力を受けてきた人たちの脳で“聴覚野”の変形がみられました。

※聴覚野:音や聞こえ、会話、コミュニケーションに重要な領域

※聴覚野の変形で起こり得る症状:言葉の理解力の低下、聴力には問題のない難聴(小さな音・他人の会話が聞こえにくい)など

MEMO

“ことばの暴力”による虐待を悔らないで！



言葉の暴力によって身体に傷はつきませんが、
 こころだけではなく脳まで影響を受けます。
 言葉の暴力によるマルトリも軽視出来ません。

MEMO

小児期の体罰が脳の発達に与える影響



子ども時代に「悪い行動を正すため」と、親から厳しい体罰を日常的に受けながら育った人の脳を検討しました。

※ムチや杖、ベルトを使った体罰を日常的に受けて育った成人と健康な成人の脳を比較

MEMO

子ども時代の強い体罰による脳への影響



子ども時代に厳しい体罰を受けた人たちの
 “前頭前野”の一部で容積の減少がみられました。

※前頭前野:頭の前額部にあり、気分や感情・行動のコントロールに関わる脳部位

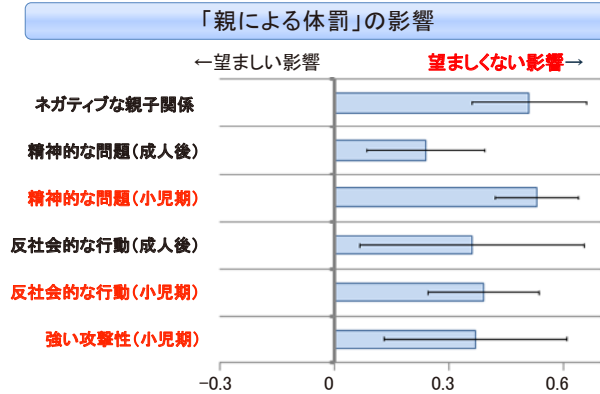
※前頭前野(内側前頭皮質)の障害で起こり得る症状:うつ病、非行を抑制できずに犯罪を繰り返す、薬物乱用(犯罪抑制力の低下)など

MEMO

体罰は百害あって一利なし！

(厚生労働省)

子どもに望ましい影響などもたらしません



親による体罰は子どもに望ましい影響は一切なく、むしろ望ましくない影響が多くあります。科学的な根拠をふまえて、体罰は子どものこころと脳の発達によくないことを伝えましょう。

※親による体罰の調査111件を統合し、約16万人の子どもたちのデータを改めて分析した結果

MEMO

両親間のDVを目撃した子どもの脳発達



2004年 児童虐待防止法の改正

子どもの目の前でDVが行われることは
マルトリに含まれる

両親間のDVを目撃する行為、DVを見聞きすることによる脳への影響を検討しました。

※ドメスティック・バイオレンス(DV):夫婦喧嘩や兄弟への暴力・暴言、家庭内での暴力・暴言

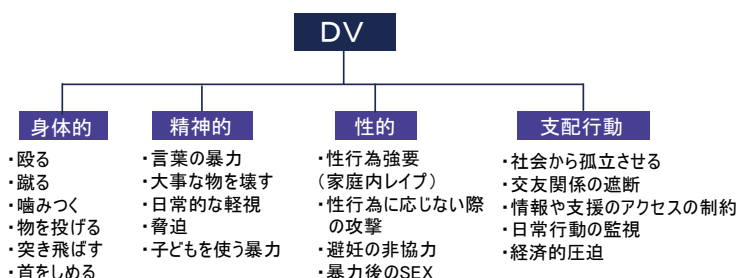
※子どもにDVを見聞きさせること:児童虐待防止法で「心理的虐待」と定義

MEMO

DVの種類

(内閣府, 2016)

- ・ DVの割合: **23.7%**
- ・ **身体的暴力だけではない！**



DVを身体的な暴力(殴る・蹴るなど)に限定せず、精神的・性的・支配的行動も同じDVであることを認識しましょう。

MEMO

DV家庭に育った子どもの健康

(WHO, 2010; Vu et al., 2016; Wathen et al., 2013; Campbell et al., 1997; Satyanarayana et al., 2015; MacFarlane et al., 2003; Rahman et al., 2012)

情緒・行動的発達に深刻な影響

- ・心的外傷後ストレス障害 (PTSD)
- ・うつ病
- ・不安症
- ・攻撃的行動
- ・自殺企図・念慮
- ・摂食障害・睡眠障害
- ・認知・行動発達の遅れ

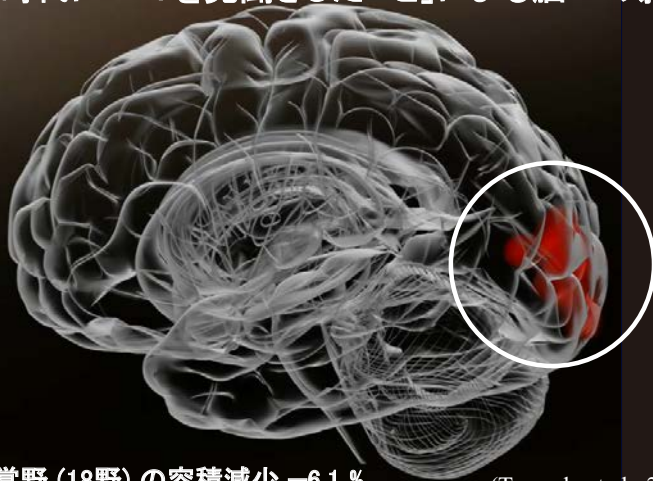


DV家庭で育つことは、子どもの情緒的、行動的発達へ深刻な影響を及ぼします。

※心的外傷後ストレス障害 (PTSD): 強烈なショック体験や強い精神的ストレスが、こころのダメージとなって、時間がたっても、その経験に対して強い恐怖を感じるもの

MEMO

子ども時代に「DVを見聞きしたこと」による脳への影響



視覚野 (18野) の容積減少 -6.1 %

(Tomoda et al., 2012)

子ども時代にDVを見聞きしてきた人たちの“視覚野”で容積の減少がみられました。子どもに直接的な暴力は及ばなくても、子どもの目の前や家の中で両親が殴り合ったり、激しく言い争ったりする行為を見たり聞いたりする経験が続くと、子どもの脳に影響が及びます。

※視覚野: 後頭部にあり、視覚的な情報を一番初めに取り入れる部位

MEMO

DVを見聞きしたこと 身体DV vs. 暴言DV

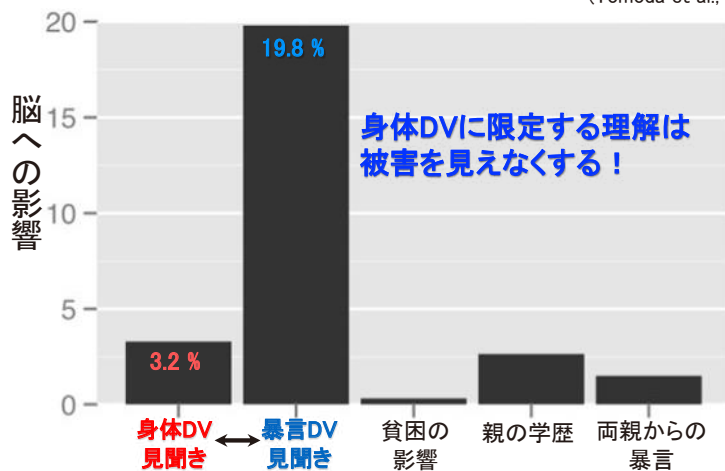


両親間の身体的なDVを目撃すること、暴言DVを見聞きすることのどちらが子どもの脳に深刻な影響を及ぼすかを検討しました。

MEMO

両親間の身体的な暴力よりも怒声や暴言の方が、 子どもの脳に深刻な影響を与える

(Tomoda et al., 2012)



身体的なDVの見聞きも影響がありましたが、暴言DVの見聞きは子どもの脳に、より大きな影響を与えました。

MEMO

子育て困難により傷つく脳



マルトリ = 子育て困難

マルトリを繰り返す親を責めるのではなく、「マルトリ=子育て困難な家庭からのSOS」との理解で支援を考えることが大切です。

MEMO

マルトリが引き起こす 愛着障がい

(アメリカ精神医学会, 2013)

5歳以前の養育者との異常な関係により

- 感情コントロールの障がいをもたらす
- 多動症の症状を呈する



マルトリが引き起こす子ども時代の1つの症状として、愛着障がいがあります。

※愛着障がい: 5歳以前の子どもと養育者との間のこころの絆(愛着)がうまく形成されない時に起こり、イライラなどの感情コントロールが困難、落ち着きがない、不注意、衝動的な行動などがみられる

MEMO

内向きタイプ



● 他人に対して無関心



● 用心深い



● イライラしやすい

外向きタイプ



● 多動



● 友達とのトラブルが多い



● 人見知りがない

マルトリが原因となって子どもに現れる症状には2つのタイプがあります。

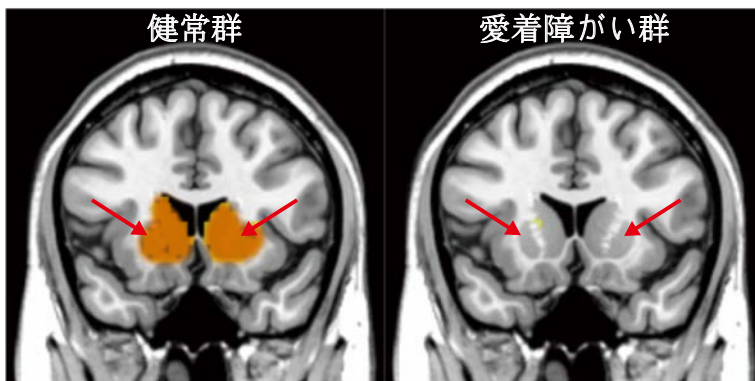
※内向きタイプ:他人に対し無関心、用心深い行為、イライラしやすく勉強に集中できない、学習の伸びがみられない

※外向きタイプ:多動で落ち着きがない、友達とのトラブルが多く喧嘩が絶えない、初対面の場面でも相手にすりよっていく(人見知りがなく相手との距離感を保てない)

MEMO

愛着障がいの子どもは 意欲・喜び・ご褒美への脳活動が弱い

(Takiguchi & Tomoda et al., 2015)



愛着障がいの子どもは、意欲や喜び・ご褒美に対する脳の働きが弱いことが示されました。愛着障がいではない子ども以上にほめ育てをする必要があります。

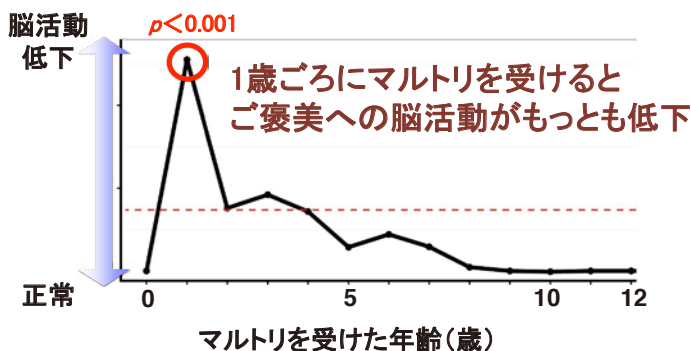
※標準的な発達の子どもの脳(図左):お小遣い(ご褒美)をもらおうと脳の線条体が活性化し、神経伝達物質のドーパミンが出る(矢印部分)

※愛着障がいを持つ子どもの脳(図右):お小遣いをもらっても、脳の線条体がほとんど活性化せず、ドーパミンも出ない

※線条体:報酬(ご褒美)・快感・意欲・嗜癖・恐怖の情報処理に重要な役割を果たす

MEMO

マルトリ・ストレスの感受性期



何歳ごろのマルトリによるストレスが、ご褒美への脳活動を最も低下させるかを検討しました。1歳ごろのマルトリ経験が、後のご褒美に対する脳活動に最も影響します。早い時期から子どものこころのケアをして、養育者支援によってマルトリを予防することが重要です。

※感受性期:最も影響を受ける時期

MEMO

癒されない傷は治る傷である！

(De Lange et al., 2008)

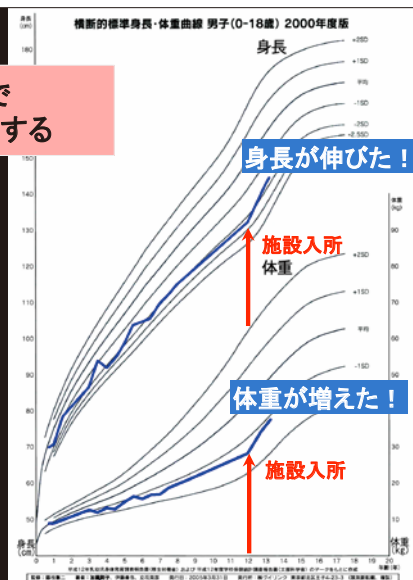


癒やされない傷は回復します。子どもが早い時期に支援やこころの治療を受け、さらなるマルトリが予防されることによって脳は回復します。

※成人患者に対する9カ月間の心理療法により、脳の回復が起っていた研究

MEMO

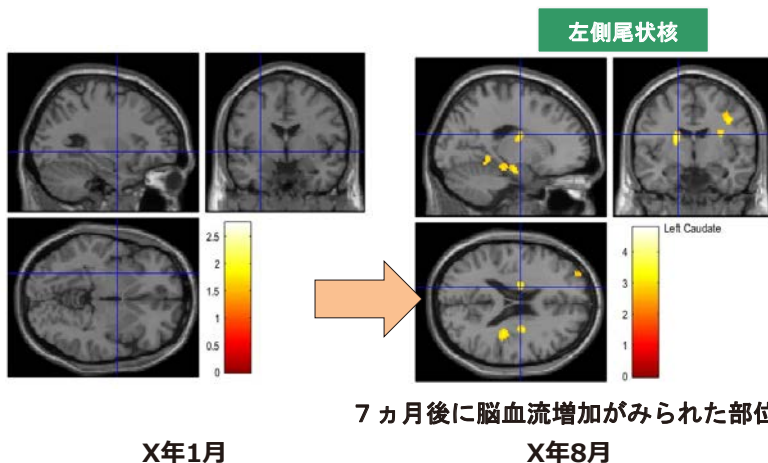
愛着の再形成で 成長の遅れが回復する



小さいころに長期的なマルトリを受け、安定した愛着形成がなされていなかった子どもの成長曲線です。児童相談所が介入し、安定した施設環境に移動した子どもでは、停滞していた身長や体重の成長の遅れが回復したケースもあります。

MEMO

愛着障がい(12歳頃の男児)脳活動の回復



愛着障がいをもつ12歳ごろの男の子とその父親に、様々な心理療法や支援を行った結果です。7ヵ月後、問題行動の減少、愛着障がいに特徴的な脳内伝達物質(ドーパミン)の働きに影響している脳部位の回復が認められました。

※愛着障がいに特徴的な脳内伝達物質(ドーパミン)の働き:スライド25参照

MEMO

「虐待を防ぐ方法」だけでなく 「子育て困難に対する対策」を！



虐待(マルトリ)を防ぐ方法だけでなく、子育て困難に対する養育者支援が必要です。

MEMO

母親7人中1人が臨床域の抑うつ気分を呈す

(American Congress of Obstetricians&Gynecologists, 2015; Horwitz et al., 2007)



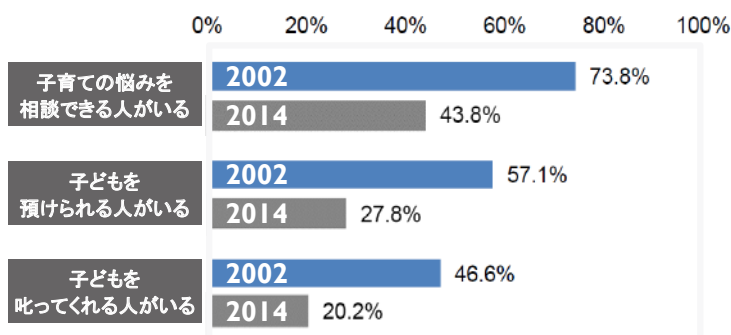
就学前の子どもの養育者になることは、
臨床域・抑うつ気分を引き起こすリスク因子

就学前の子どもの持つことは、抑うつ気分のリスク因子になります。母親の7人に1人が抑うつ気分を呈します。

MEMO

養育者(母親)の育児の孤立化 (閉塞感の増加)

(厚生労働省委託・三菱UFJリサーチ&コンサルティング「子育て支援策に関する調査」, 2014)



少子化・核家族化・地域のつながりの希薄化など、養育環境が変化
する中で、**子育てが孤立化し閉塞感が増加**している

2002年から12年経った2014年の調査では、「子育ての悩みを相談出来る人」「子どもを預けられる人」「子どもを地域で叱ってくれる人」が約半分に減少しました。現代社会では少子化、核家族化が進み、地域の繋がりが希薄になり「孤立した育児(孤育て)」になりがちです。

MEMO

予防的な養育者支援を目指して

RISTEX公私空間プロジェクト (2015-18)

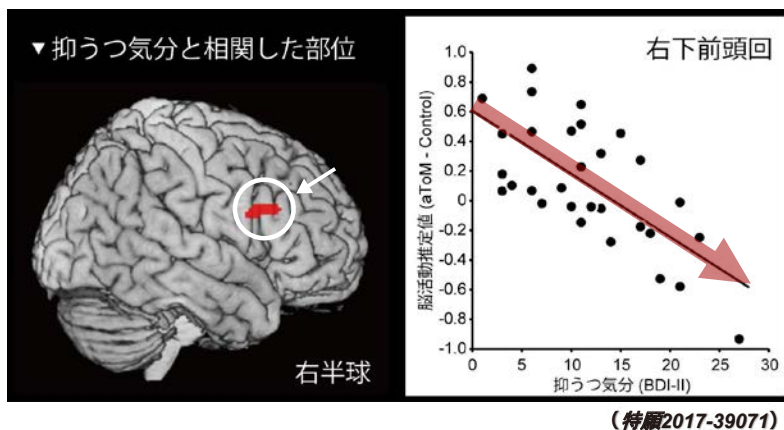


予防的な養育者支援につなげる兆候を脳科学でみつけられないか

MEMO

とも育て(きょうどう子育て)に必要な社会脳(母親)

(Shimada & Tomoda et al., 2018)



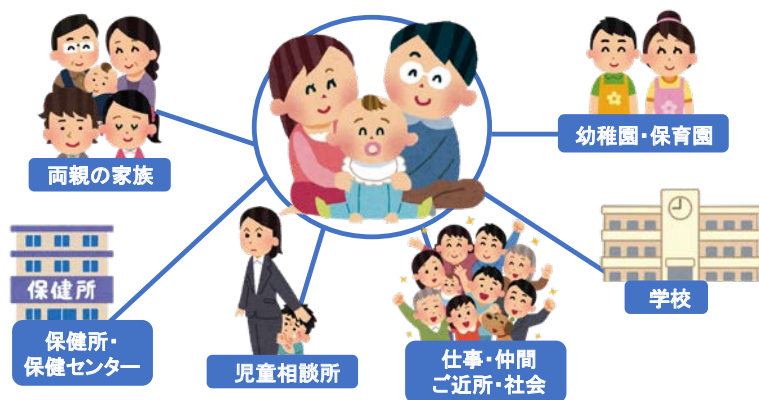
健康な母親でも抑うつ気分が強くなると、脳の右半球、右下前頭回の働きが低下し、とも育て(きょうどう子育て)が困難になり、孤立につながります。うつ病に陥る前の予兆を見つけることで、早い支援が可能になるのではないかと考えています。

※右下前頭回: 気持ちを推測する能力に関係する脳部位
※社会脳: 自己と他者、そして社会を結ぶ脳の働き

MEMO

とも育て(きょうどう子育て)が必要

その家族の脇にいて共に(伴に)寄り添う



今回特に伝えたいことは“とも育て”です。
この視点が「マルチ予防」に不可欠です。

※とも育て: 実の親や家族だけで子育てをするのではなく、子どもを取り巻く地域の全ての大人、両親の家族や親せき、近所、保育園や幼稚園、学校や母子保健、医療や児童福祉、仕事仲間など、全ての大人が次の世代を担う子どもたちやその親、家族に寄り添う、家族丸ごと支援のこと

MEMO

本教材は、専門領域

(母子保健、精神保健、児童福祉、医療、教育など)に関わらず、『マルトリ』の概念及びマルトリが脳に与える影響等を、全ての国民が共通認識し、共通言語として普及する「マルトリ予防モデル」の構築を目標に作成されました。

「マルトリ予防」「とも育て」の最新情報は、右記のQRコードまたは<https://marutori.jp>まで。
本教材を含む各種データもご覧いただけます。

- 「マルトリートメント(マルトリ)が脳に与える影響」

- ・視聴覚教材(約30分)
- ・映像テキストブック

- 脳科学から考える「マルトリ予防のすすめ」

ー地域社会みんなでともに育ち合うためにー

- 子どもの脳とところがすくすく育つ

マルトリに対応する支援者のためのガイドブック

- 市民向け啓発資料 など



[https:// marutori.jp](https://marutori.jp)

マルトリートメント(マルトリ)が脳に与える影響 映像テキストブック

2020年3月31日 第1版第1刷

著 者 友田明美

協 力 ■福井大学 子どものこころの発達研究センター
椎野智子・榊原信子・矢尾明子・藤澤隆史・島田浩二・滝口慎一郎
■大阪府 こころの健康総合センター
■豊中市保健所
■枚方市保健所

発 行 福井大学 子どものこころの発達研究センター

製作協力 一般社団法人 日本家族計画協会

デザイン・印刷・製本 前田印刷株式会社

- 本書は著作権法上の例外を除き、無断複写・複製・転載は禁じられています
- 本発行物は、国立研究開発法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター(JST/RISTEX)「安全な暮らしをつくる新しい公/私空間の構築」研究開発領域、「養育者支援によって子どもの虐待を低減するシステムの構築」プロジェクトの研究開発成果です



マルチトリートメント(マルチ)が 脳に与える影響

映像テキストブック

誰一人取り残さない持続可能な共同子育て社会を目指して



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。